

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（887））
2. 日時：平成30年4月23日 17時35分～17時40分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 主任

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート
- ・安全施設及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書に係る補足説明資料【「可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート」】
- ・強度計算の基本方針の概要
- ・クラス1機器の強度計算の基本方針
- ・クラス2機器の強度計算の基本方針
- ・クラス3機器の強度計算の基本方針
- ・クラス4機器の強度計算の基本方針
- ・強度計算方法の概要
- ・日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置（制御棒駆動機構、制御棒駆動水圧系）（本文）
- ・日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 計測制御系統

- 施設のうち制御材駆動装置（制御棒駆動機構、制御棒駆動水圧系）（添付書類）
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）（本文）
  - ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）（添付書類）
  - ・ 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
  - ・ 安全設備及び重大事故等対処設備対処設備が使用される条件の下に置ける健全性に関する説明書に係る補足説明資料のうち補足-40-4 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置について（使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置の概要）
  - ・ 安全設備及び重大事故等対処設備対処設備が使用される条件の下に置ける健全性に関する説明書に係る補足説明資料のうち補足-40-5 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置の操作性について（使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置の操作性に関する補足説明資料）
  - ・ 工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設）のうち使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 補足-170-1【使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について】